

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局 建設部 都市・住宅整備課

担当課長名：福本 仁志

事業名	都市計画道路 いずはらつつみつしません 厳原豆酸美津島線		事業区分	街路	事業主体	長崎県
起終点	自：対馬市厳原町中村 至：対馬市厳原町久田道				延長	0.56km
事業概要	中心市街地の交通混雑を緩和するとともに、歩行者の安全を確保し、道路周辺の発展及び生活環境の向上を図るため、延長L=0.56km、幅員W=16mにて平成10年度より実施している。					
H10年度事業化	S43年度都市計画決定 (昭和53年度変更)	H11年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	2.8億円	事業進捗率	76.4%	供用済延長	0.24km	
計画交通量	15,900台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 4.62/29.58億円 (事業費：4.32/29.06億円 維持管理費：0.30/0.52億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 17.93/31.38億円 (走行時間短縮便益：17.56/30.73億円 走行経費減少便益：0.37/0.65億円 交通事故減少便益：0.00/0.00億円)	基準年 平成19年		
事業の効果等	・中心市街地の交通混雑が改善される。 ・通行車両及び歩行者の安全が確保され周辺地域の発展が図られる。 外6項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	・中心市街地の交通渋滞改善策として早期実現が望まれている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成18年10月7日に対馬市交流センターオープン。(今屋敷地区第一種市街地再開発事業完了) ・平成18年度に対馬市都市計画道路横町線街路改築事業完了。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成17年3月 工区終点側L=240m供用済み。 ・用地取得を先行し、取得完了後随時街路整備を行っていく。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・用地補償交渉において、境界の確定及び移転方法を含めた条件交渉に不測の期間を要した。 ・中心市街地でもあり、各種占有物の移転に期間を要した。					
施設の構造や工法の変更等	・リサイクル材の積極的活用を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	当初からの事業の必要性、重要性は変わらない。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。